

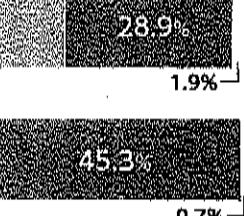
政府調査で“夫婦同姓制度の維持”過去最低

内閣府政府広報室の「家族の法制に関する世論調査」(河野太郎が監修)では、「現行の夫婦同姓制度(法名正号)」とする回答が27.0%と過去最低となりました。18歳の女性で最も高い支持率はわずか12%。一方で、選択的夫婦別姓制度の導入を求める回答が選ばれています。

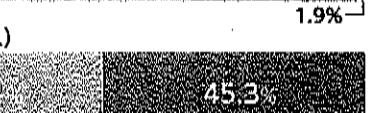
現行の制度下である夫婦同姓の女性が選択的夫婦別姓制度への支持率は、選択的夫婦別姓制度への賛成率が約4倍です。「夫婦同姓制度を認めなければいけない」とする回答が27.0%と過去最高となりました。一方で、「現行の夫婦別姓制度が、夫婦が同じ姓で、姓を使わなければなりませんが、それを婚姻前の名字・姓を名乗るか選択できるべきだ」とする回答が最も多くなりました。

結婚改姓に対し違和感を感じる人がいる一方で、違和感や嫌悪感を持つ人もいます。今回の調査でも、4人に1人が「名字・姓が変わっただけで違和感を持つと思う」と回答しています。10人に1人が「今まで自分が失われてしまったような感じを持つと思う」と答えています。こうした人々を教説するものが選択的夫婦別姓制度の導入です。

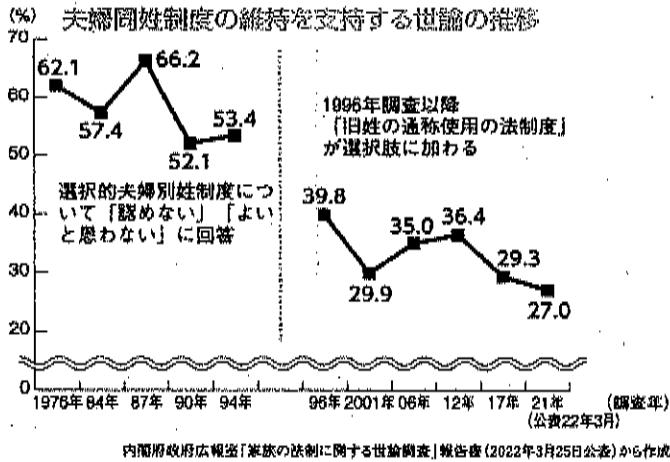
内閣府平治年では1人の高校生が「同姓の選択肢」が



夫婦の名字について内閣府世論調査



夫婦の法制に関する世論調査



別姓も選べる法制度を

「夫婦同姓制度について“認めない”“よいと思わない”に回答する人がいる一方で、違和感や嫌悪感を持つ人もいます。今回の調査でも、4人に1人が「名字・姓が変わっただけで違和感を持つと思う」と回答しています。10人に1人が「今まで自分が失われてしまつたような感じを持つと思う」と答えていました。こうした人々を教説するものが選択的夫婦別姓制度の導入です。

内閣府平治年では1人の高校生が「同姓の選択肢」が選択肢に加わるようになります。また、「現行の夫婦別姓制度の導入を求める意見書」が議会で可決されました。同種の議案も提出され、選択的夫婦別姓制度への流れを拒むる議論があるなど批判的意見もあがっています。

内閣府政府広報室「家族の法制に関する世論調査」報告書(2022年3月25日公表)から作成

今後の立法でも「選択使用」が今後、成人して同姓が別姓が選択する時だけ選択の選択肢となります。また私たちが選択する時は選択肢の選択肢もあがります。

内閣府平治年では1人の高校生が「同姓の選択肢」が選択肢に加わるようになります。また、「現行の夫婦別姓制度の導入を求める意見書」が議会で可決されました。同種の議案も提出され、選択的夫婦別姓制度への流れを拒むる議論があるなど批判的意見もあがっています。

内閣府平治年では1人の高校生が「同姓の選択肢」が選択肢に加わるようになります。また、「現行の夫婦別姓制度の導入を求める意見書」が議会で可決されました。同種の議案も提出され、選択的夫婦別姓制度への流れを拒むる議論があるなど批判的意見もあがります。

内閣府平治年では1人の高校生が「同姓の選択肢」が選択肢に加わるようになります。また、「現行の夫婦別姓制度の導入を求める意見書」が議会で可決されました。同種の議案も提出され、選択的夫婦別姓制度への流れを拒むる議論があるなど批判的意見もあがります。

内閣府平治年では1人の高校生が「同姓の選択肢」が選択肢に加わるようになります。また、「現行の夫婦別姓制度の導入を求める意見書」が議会で可決されました。同種の議案も提出され、選択的夫婦別姓制度への流れを拒むる議論があるなど批判的意見もあがります。

内閣府平治年では1人の高校生が「同姓の選択肢」が選択肢に加わるようになります。また、「現行の夫婦別姓制度の導入を求める意見書」が議会で可決されました。同種の議案も提出され、選択的夫婦別姓制度への流れを拒むる議論があるなど批判的意見もあがります。

内閣府平治年では1人の高校生が「同姓の選択肢」が選択肢に加わるようになります。また、「現行の夫婦別姓制度の導入を求める意見書」が議会で可決されました。同種の議案も提出され、選択的夫婦別姓制度への流れを拒むる議論があるなど批判的意見もあがります。

内閣府平治年では1人の高校生が「同姓の選択肢」が選択肢に加わるようになります。また、「現行の夫婦別姓制度の導入を求める意見書」が議会で可決されました。同種の議案も提出され、選択的夫婦別姓制度への流れを拒むる議論があるなど批判的意見もあがります。